

2023年7月吉日

「作業同一性質問紙の入院・入所中の高齢者への転用可能性の検討」へのご協力をお願い

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

私たちは、地域で生活される要支援・要介護高齢者の方々を対象とした、生活史に基づいたリハビリテーション目標を決めるための作業同一性質問紙（Occupational Identity Questionnaire ; OIQ）を開発しました。作業同一性質問紙は高齢者の方々の個別的なニーズを明らかにし、気概や意欲を引き出すことで、活動や参加などの生活の向上をはかる支援の一助となると考えております。

この度、病院に入院中および施設に入所中の高齢者の方々に作業同一性質問紙が利用できるかどうか、転用可能性の検討を計画しております。つきましては、下記の内容をお読みいただき、研究の趣旨をご理解いただき、以下のことにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究にご協力いただける場合は、別紙の同意書にご署名をお願いいたします。

記

1. 研究課題名

作業同一性質問紙の入院・入所中の高齢者への転用可能性の検討

2. 研究の目的・意義

本研究の目的は、作業同一性質問紙が入院・入所中の高齢者に対しても適用できるかどうか、転用可能性を検討することです。本研究によって、作業同一性質問紙が入院・入所中の高齢者に対しても利用できるようになり、入院・入所中から在宅性を見据えたリハビリテーションの展開に貢献できると考えられます。

3. 研究の方法とご協力いただきたいこと

この研究では、次の手順で行います。

- ①所属する機関の責任者に対し、研究協力機関となることの説明と依頼を行ってください。
- ②研究協力者は、所属施設で研究対象者の募集を行い、自らの意思で研究への協力を申し出た者に対し、本研究の説明と依頼を行ってください。そして、同意書が得られた者を研究対象者とします。
- ③研究協力者は、研究対象者に関する情報として、基本属性を一般情報記入シート、日常生活活動の評価結果を日常生活活動シートにご記入をお願いいたします。
- ④研究協力者は研究対象者に作業同一性質問紙および Medical Outcomes Study 12-Item Short-

Form Health Survey version 2 (SF-12) を配布し、記入をご依頼ください。

4. 研究対象者

研究対象者の予定人数は計 100 名です。性別は問いません。

包含基準は、①病院（急性期病院、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟）、介護老人保健施設、特別養護老人ホームを利用する高齢者で、②質問紙への回答ができる者（目安として改定長谷川式簡易知能評価スケールで 21 点以上、Mini Mental State Examination で 24 点以上）、③研究参加に同意の得られた者としています。除外基準は、認知症や高次脳機能障害の診断を受けている者としています。

*②で認知機能評価に関する目安を記載しておりますが、あらためて取得する必要はございません。

5. 倫理的配慮について

- ・研究で得られたデータにより個人・施設名が特定されることはありません。
- ・本研究により得られた研究対象者の個人情報には本研究の目的以外では使用いたしません。
- ・本研究により得られた一般情報や調査内容は、電子データとしてパスワードで保護した上で USB メモリに保存し、厳密に扱います。文書は、研究代表者の勤務先にある鍵のかかるキャビネットにおいて、厳重に保管します。
- ・本研究データの保存期間は、当該研究の終了を研究代表者が報告した日から 10 年を経過した日までの期間です。保管期間後に、電子データは USB メモリから削除、文書はシュレッダーで裁断することで、関係するデータはすべて破棄いたします。
- ・本研究への協力によって、通常の業務外の負担が生じることが予想されます。そこで、研究協力によって生じる業務に対して、謝礼を支給させていただきます。
- ・研究協力を取りやめることは、研究責任者にお伝えください。本研究への協力の中止に応じます。研究で得られたデータのうち、研究協力者が保管しているデータはすべて破棄することができます。すでに研究代表者に提出したデータは、完全に匿名化されるため、破棄することができないことをご承知おきください。
- ・本研究は、JSPS 科研費 23K12672 の助成を受けて実施します。
- ・開示する利益相反はありません。
- ・この研究は、令和 5 年度常葉大学研究倫理委員会において審査を受け、承認されております（承認番号：2023-012H）。

6. 研究協力にともなう謝礼

本研究に協力していただくと、謝礼として、研究協力者に対して QUO カード 3000 円分が支給されます。

7. 研究成果の公表，情報開示，研究成果の還元

本研究は，リハビリテーション関連の学会や学術誌において公表する予定です．公表の際にも，上記同様に個人情報の保護について十分に配慮し，個人や施設名が特定されることはありません．

研究内容や結果については，下記のお問い合わせ先までお申し出ください．

8. お問い合わせ先・研究の実施体制

本研究について疑問や質問が生じた場合には，下記までお問い合わせください．

研究責任者：鹿田 将隆

所 属：学校法人常葉大学 常葉大学 保健医療学部 作業療法学科

勤 務 先：〒431-2102 静岡県浜松市北区都田町 1230

連 絡 先：E-mail mshikata (アット) hm.tokoha-u.ac.jp

*アットは@に置き換えてください